

3 180°より大きい角度は、180°と()の部分に分けたり、()から小さいほうの角度をひいたりして、はかることができます。

4 P.54のえんぴつ問題をやりましょう。

えんぴつ4 ④()°

えんぴつ5 ()°

※答え 1 (1)回転、大きく (2)2直角、4直角 (3)分度器 (4)1度、1°、単位、90°、角度 (5)角度

2 (1)180、270、360

(2)えんぴつ1...①20° ②115° ③45° ④160°

えんぴつ2...⑤45° ⑥45°

えんぴつ3...①30°+45° ②90°+30° ③60°-45°

3 残り、360

4 えんぴつ4...⑦210°

えんぴつ5...360°から小さいほうの角度の45°をひいて考えました。



<めあて> 分度器を使って、いろいろな大きさの角や三角形をかこう。

1 教科書のP.55の[角のかき方]を読んでから、()に当てはまる答えを書いたり、えんぴつ問題に取り組んだりしましょう。

(1) 50°の角をかくには、まず辺ABをかきます。次に、分度器の()を点Aに合わせて、0°の線を辺ABに()ます。そして、()°の目もりのところに点Cをとります。最後に、点Aから点Cを通る()をひけば、50°の角がかけます。

(2) 210°の角をかくには、180°と()°に分けて考えたり、360°から小さいほうの角度の()°をひいて考えたりして、かくことができます。

(3) P.55のえんぴつ問題をやりましょう。

えんぴつ1

①75°

②15°

③ 160°

④ 125°

えんぴつ2

① 195°

② 350°

③ 260°



2 教科書の P.56の[三角形のかき方]を読んでから()に当てはまる答えを書いたり、えんぴつ問題に取り組んだりしましょう。

(1) P.56の三角形 ABC をかくには、まず長さ()cmの辺 AB をかきます。次に、A を頂点として、() $^\circ$ の角をかきます。同じように、B を頂点として、() $^\circ$ の角をかきます。最後に、直線が()点を C とします。そうすれば、三角形 ABC がかけます。

(2) P.56のえんぴつ3をやきましょう。

①



②



※答え

1 (1) 中心、重ね、50、直線 (2) 30、150 ③省略

2 (1) 5、40、55、交わる (2) 省略



★ GIFU Webラーニングの「たんげんまとめ練習」の「(ショートコース)角度」を選んでやってみましょう。パソコンやタブレットなどで、GIFU Webラーニングにつなぐときは、おうちの人に聞いてみましょう。

【おうちのひとへ】

GIFU Web ラーニングを使用するためのログイン名とパスワードPWは、学校にお知らせしてありますので、ご確認ください。

★学しゅうのふり返りをしましょう。

「学校が始ったら先生に聞きたいこと」や

「分からなかったこと・心配なこと」があったら書きましょう。